

## USPTO 新長官、今後の特許施策に言及

2015年3月24日  
JETRONY 知財部  
今村、丸岡

先般 USPTO 長官に就任した<sup>1</sup>Michelle K. Lee 氏は、Managing IP 誌が主催したカンファレンスにおいて、新長官として今後の特許施策について言及した。なお、同内容は長官就任後初めて同庁公式ブログに掲載されたもの<sup>2</sup>。

### <概要>

- ①優れたオフィスアクション、庁内手続、②優れた品質評価、③優れた顧客サービスを通じて、イノベーションの促進、競争力の強化、そして経済成長を実現する。そのために、USPTO は、品質向上を最優先事項として取組むべく「Enhanced Patent Quality Initiative」<sup>3</sup>を実施する。
- 特許制度改革は必要である。しかし、裁判所の判断や USPTO の運用の変更を考慮したものでなければならない。また、裁判所、議会、USPTO、そしてユーザーにとって意味のある、バランスのとれたものとする必要がある。
- ビッグデータの活用、様々なデータの外部提供を積極的に行ない、情報公開を推進する。
- IIP5、USTR との協力、米中合同商業貿易委員会 (JCCT)<sup>4</sup>での IP セッションなどを利用して、中国に対し制度の調和、運用の調和を働きかけていく。
- ユーザーからの意見を取り入れて、近々料金の改定を行う。
- 各種施策に対し、ユーザーからの更なるコメントを歓迎する。

以上

---

<sup>1</sup> [2015年3月17日特許ニュース Michelle K. Lee 氏が USPTO 長官に就任](#)

<sup>2</sup> 公式サイトでの[記事全文](#)

<sup>3</sup> [2015年2月5日特許ニュース USPTO、特許関連業務の質向上に向けた包括的プログラムを開始](#)

<sup>4</sup> 米中間の通商問題を議論する年 1 回開催の閣僚級会合。米国側は通商問題の特定・解決並びに通商機会の拡大の場として利用。